ひかり

第58号
(令和元年9月)
浄光寺寺報

山形市八日町
2-4-35
(023)622-6010

令和元年　秋彼岸法要のご案内

枝葉栄えんと欲せば　先ずその根を養うべし

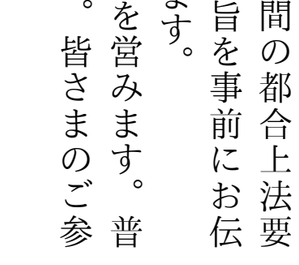
木の枝や葉が生い茂るには、その枝葉に水や養分をおくる根がなければなりません。人も同じく、その命のもとであるご先祖様を大切にし、ご供養をすることが大事です。

ご先祖様への報恩感謝とご供養のため、秋彼岸法要を執り行います。皆様お誘い合わせの上、御参拝くださいますようご案内申し上げます。

九月二十日（金）

一．午後一時　法話
二．午後一時半　法要
三．午後二時半　芋煮供養

お塔婆の申し込み・変更のある方は、お早めにご連絡下さい。（一本　二千五百円）



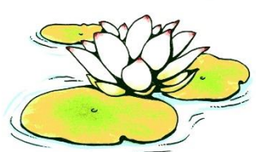
令和元年　宗祖報恩会式法要のご案内

記

十月二十日（日）　於　玄妙寺

一．午後一時半　会式法要（本堂）
二．午後二時半　企画中※
三．午後三時　懇親会

◇会費　三、〇〇〇円（お布施・会食費込）
◇準備の都合上、参加される人数をご一報下さい
◇日蓮大聖人への報恩感謝のお塔婆を建立しましょう
（一本　二千五百円）



例年のことながら、催し物は現在企画・調整中でございます。なお、企画並びに懇親会へのご参加は任意でございますので、お時間の都合上法要のみにご参加なされる方は、その旨を事前にお伝え下さいますようお願い申し上げます。

本年は玄妙寺におきまして法要を営みます。普段とは異なる本堂でのお参りです。皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げます。

令和元年　盂蘭盆施餓鬼法要ご報告

八月に執り行われました盂蘭盆会施餓鬼法要についてご報告いたします。

矢吹栄修上人の法話では、人・町・自然の健康についてお話いただきました。特に、法華経の教えにある欲を持たない（足るを知る）こと、極端に走らない（中庸）ことの二つが、心の健康を保つために重要であり、それが体の健康にも繋がるというお話でした。生きていく上で足りないものはそれほど多くありません。あれもこれもと求め過ぎずに、自分にとっての丁度良い具合をみつけることが大切です。日頃の平和な日常を過ごせることに感謝して、心を落ち着けてご先祖様や仏様に手を合わせていただければ、皆さまの心と体だけでなく、町や自然といった社会全体が少しずつ健康になっていくことでしょう。



《本堂工事並びに東屋修繕報告》

本堂正面の階段に手すりを設置致しました。滑りやすく急な階段となっておりますので、本堂へお参りの際には手すりを是非ご利用ください。

また東屋の屋根修繕及び水道管切り替え工事を行いました。昨年よりポンプにて組み上げている地下水に濁りが見られるため、東屋の蛇口から上水道が出るよう水道管の切り替え工事を実施しました。

《わんぱく寺子屋寄付者芳名》

妙法寺　矢吹海慶　：　三萬円・スイカ
大宝寺　新谷宝珠　：　三萬円・お茶
本行寺　鈴木功修　：　三萬円
蓮成寺　大類秀憲　：　二萬円・スイカ
神尾勝則　：　一萬円・ジュース
井上　正　：　一萬円
鈴木昌史　：　一萬円
佐藤明夫　：　一萬円
後藤富治　：　お米・お野菜

（順不同・敬称略）

令和元年　わんぱく寺子屋　ご報告

八月一日から一泊二日の「わんぱく寺子屋」が開催されました。かつてお寺は寺子屋と称される子供の学びの場を提供していました。寺子屋では勉強だけでなく、こころの大切さを子供たちに説いてきました。何かと忙しい現代の子供たちのこころを、お寺での集団生活を通し、少しでも健全に育まれるようにとスタッフ一同準備してまいりました。

本年は記念講演として中井川茂敏様に「夢」という表題でお話していただきました。内容を抜粋して左記頁に記載いたします。その後、本堂で仏前作法



を学んでもらいました。自宅がフローリングのため正座に慣れていない子もいれば、初めての数珠の使い方が分からない子も見受けられましたが、先生方や周りの子のアドバイスによってすぐに覚えることができたようです。

今年参加してくれた三十九名の子ども達は、その半数以上が今年初めての寺子屋参加でした。慣れない環境のなかでも、福祉施設との交流や朝夕のお参りといったプログラムに取り組んでくれました。

今年初めての試みであった写経においては、静かに集中して取り組んでくれたことが印象的でした。初めて使用する筆ペンに四苦八苦したとは思いますが、各々の願いをこめながら丁寧に写経をしてくれました。きっと願い事は叶うことでしょう。

最後に、この度のわんぱく寺子屋に際しまして、ご寄付や差し入れ、炊事等のお手伝いをしてくださった皆様、誠にありがとうございました。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。





《記念講演》～可能性を信じて夢をかなえる～

皆さん自分の夢を持っているでしょうか。私は子供の頃からサッカーに関わり、挫折や失敗を経験しながら、モンテディオ山形のＧＭとしてＪ１昇格という夢をかなえることができました。

夢はみるものではなくかなえるものです。しかし、すぐにかなうものでもありません。どのように行動すれば夢がかなうのか、自分で考えて行動することによって、少しずつ夢は近づいてきます。

自分の夢を細分化して一日、一月、一年単位で目標を設定しましょう。時には失敗することもあるでしょうが、簡単に諦めず、この目標に対して日々チャレンジしていくことが肝要です。

そのためにも、モチベーションを保ち続ける必要があります。そのためには、その夢が好きであること、向上心を持つこと、そして目標を達成することによる感動を覚えることが大事です。私は中学生の頃にサッカー部の新人戦で優勝した時に感じた感動が、モンテディオ山形のＪ１昇格への原動力になったと感じています。

次に大切になるのは自分自身を分析・観察する力です。今の自分には何ができて、何ができないのかを知ることにより、日々の生活や練習で何をしなければならないのかを知ることができます。闇雲にただチャレンジするのではなく、何をどうチャレンジするのかが大切です。

素直な気持ちをもつことも大切な要素です。人からのアドバイスを聞く際に、素直な気持ちで聞く耳をもつこと。更には行き詰まった時には、素直にその悩みや状況を人に相談すること。そうすることでコーチや周りの人から良いアドバイスをもらえるでしょう。

最後になりますが、皆さん大きな夢をもってください。そして、夢を実現することは大事ですが、それまでの過程はもっと大事です。たとえ失敗したとしても、その過程で行った準備や努力は、自分自身の経験として大切な財産となるからです。



